

2012 年度 第2回スーパーモタード部会 議事録 【ダイジェスト版】

開催日： 2012年10月16日（火）

開催場所： 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会・会議室

1 MOT01 オールスターズ・エリア選手権 開催状況中間報告

1) MOT01 オールスターズ：

今年度全8戦開催予定のうち第7戦まで終了した。観客数は若干減少傾向であるが、全体の参加台数はほぼ横ばいである。

2) MOT01 エリア：

一部大会を除き全エリアほぼ全戦が終了したが、参加台数の減少が顕著である。特にB級のライセンス所持者の減少が参加台数にそのまま反映した形になっている。

2 MOT01 オールスターズシリーズランキング中間報告

第7戦終了時点の暫定ランキングが報告された。

11月4日の最終戦（もてぎ）終了後、書面審議にてランキングを承認することが確認された。

※全戦終了後最終ランキングが部会にて承認された。

3 2013 シリーズに関する提案

1) プロモーター制度導入案について

前回部会終了後、マクサアジアより収支案を含めた再提案がなされ、各主催者で検討した結果を事務局にて取りまとめた。その結果、来季におけるプロモーター制度導入までには至らないと判断された。

マクサアジアとの協議の結果、マクサアジアは2013年、FIM-ASIA スーパーモト選手権のプロモーター活動および国内における4戦ほどの承認競技会主催に集中すること、そして、MOT01 オールスターズの主催は行わないことが報告された。

2) 2013 シリーズ開催に向けて

来年より従来の競技会とマクサアジア主催の競技会が並列して開催されることから、それぞれの役割（棲み分け）を明確にするため、国内最高峰競技会“MOT01 オールスターズ”を“全日本スーパーモタード選手権シリーズ”として開催することが事務局より提案された。

(1) 全日本選手権シリーズ

提案

- シリーズ名称：「MFJ 全日本スーパーモタード（またはスーパーモト）選手権」
- 競技会格式：全日本格式
- 開催クラス：クラス名称を FIM 世界選手権“S1”と統一した名称に変更する。
- 参加資格・参加車両区分は従来通り

決定事項

審議の結果、2013年より下記の通りとすることが了承された。

- ① シリーズ名称：「MFJ 全日本スーパーモタード選手権」
(MFJ All Japan Supermotard Championship)
- ② 競技会格式：全日本格式 ※競技会公認料変更なし。また当面、審査委員派遣は行わない。
- ③ 開催クラス：クラス名称を下記の通り変更する。
- | | | | |
|------------|---|---------|-------------|
| 【現行名称】 | ⇒ | 【新名称】 | ※位置づけ |
| moto1 PRO | ⇒ | S1 PRO | …最高峰クラス |
| moto1 OPEN | ⇒ | S1 OPEN | …ステップアップクラス |
| moto2 | ⇒ | S2 | …小排気量クラス |
- ④ 参加資格：(現行通り) スーパーモタード A 級
S1 PRO クラスは現行規則通り 21 名の登録制とする。
※ 登録優先順位も現行通り(競技規則 7-1-1)とするが、ワイルドカード出場のライダーもポイントランキング 15 位以内に入れば、翌年の登録(残留)資格があるものとする。(2013年の登録より適用)
- ⑤ 車両区分：(排気量区分は現行通り) 名称を下記の通り変更する。

旧区分名称	4ストローク	2ストローク	新区分名称
アンリミテッド	460cc 以上		アンリミテッド
moto1	290cc~450cc	175cc~250cc	S1
moto2	175cc~250cc	100cc~125cc	S2

※上記以外の全区分については下記【別表1】参照

- ⑥ 2013 開催日程：下記日程をベースに現在調整中
- | | | |
|-----|--------------|-----------------|
| 第1戦 | 4月14日 | 琵琶湖スポーツランド(調整中) |
| 第2戦 | 5月(仮) | 伊那サーキット(調整中) |
| 第3戦 | 6月23日 | エビスサーキット |
| 第4戦 | 7月21日 or 10月 | TS タカタサーキット |
| 第5戦 | 8月18日 | スポーツランド SUGO |
| 第6戦 | 9月15日 | HSR 九州 |
- ⑦ 広報関連について
来季の全日本選手権ホームページの設置等を事務局にて検討する。

(2) エリア選手権

提案

- シリーズ名称：「MFJ スーパーモタード(またはスーパーモト) エリア選手権」
- 開催クラス：全日本選手権に準じた名称に変更する。
- 参加資格・参加車両区分は従来通り
- エリア構成案：2012年と同様の5エリアでの開催を継続する
各エリア開催戦数については調整中である。
- 昇格制度：現行通り B 級から A 級へのライセンス昇格制度を設ける。
ただし、昇格人数、昇格基準は、各エリアのライセンス取得者数および各エリアの開催数を考慮し決定する。

決定事項 審議の結果、2013年より下記の通りとすることが了承された。

- ① シリーズ名称：「MFJ スーパーモタードエリア選手権」
(MFJ Supermotard Area Championship)
- ② 開催クラス：クラス名称を下記の通り変更する。

【現行名称】	【変更後名称】
moto1 OPEN	⇒ S1 OPEN
moto2	⇒ S2
moto3	⇒ S3
- ③ エリア構成：(現行通り)以下の5エリアを継続する。
 関東・東北 / 中部・近畿 / 中国四国 / 九州 / 沖縄
 各エリア3戦以上の開催数で日程調整を行う。
※後日、中国四国九州は西日本エリアとして統合して開催することが決定した。
- ④ 昇格制度：各エリア各クラスのB級上位1位を申請昇格とする。

【別表1】 <2013 公認競技会クラス名称と車両（排気量）区分>

競技クラス	車両区分	4ストローク	2ストローク
S1 OPEN	アンリミテッド	460cc 以上	
	S1	290cc～450cc	175cc～250cc
⑤ S1 PRO			
S2	S2	175cc～250cc	100cc～125cc
S3	S3	市販車 231cc～	
		レーサー 85cc～150cc	51cc～85cc
S4	S4	51cc～125cc	
S4 ストック	S4 ストック	50cc 以下	50cc 以下

4 2012 MOTO1 オールスターズ施策の評価・継続と2013 変更点について

1) moto1 PRO クラスの2012 実施施策の評価と継続について

- 決勝2レース制を採用 …<観客、エンタラント満足度向上>
- 使用タイヤを計時予選から決勝まで1セットに制限 …<TOP 独走阻止、コスト削減>
- 全16レース中12レースの有効ポイントを採用 …<大会(レース)数増加対応>

上記施策について、第7戦までの目的達成検証と課題を確認し、2013年の継続可否について審議された。

決定事項 審議の結果、2013年は下記の通りとすることが決定した。

- ① S1 PRO クラスのみ、決勝2レースおよびタイヤ1セット制限を継続する。
 関連規則の解釈は変更しない。(管理対象も現行規則どおり計時予選から決勝レース2までとする)
- ② 有効ポイントは適用しない。
- ③ タイヤマーキング方法も継続する(ステッカー+ペイント)
- ④ 現状のタイヤコントロールをステッカー+ペイント方式で行う。

2) 音量規制値の改定について

2013年より音量規制値が2mMAX測定で112dB/Aに改定されること（2012競技規則書にて予告済み）に伴い、旧式車両での参加エントラントに配慮した移行措置について審議され、以下の通りとすることが決定した。

決定事項

○ 測定方法 :

2013年より2mMAX方式に統一する。

○ 音量規制値 :

全日本S1 PROクラスは2013年より最大112dB/Aとする。

全日本S1 OPEN、S2クラスおよびエリア選手権は2014年まで移行措置として最大115dB/Aとする。（2年の移行期間）

2015年より全日本、エリア選手権ともに全クラスで最大112dB/Aとする。

（※測定機器許容誤差を従来通り認める：クラス1（精密）+1dB/A、クラス2（普通）+2dB/A）

3) エリア選手権活性化施策

エリア選手権の参加台数増加およびライダーの走行機会増加を目的とした施策として下記2案について審議された。（前回部会決定事項の具体化）

(1) 承認クラスの新設

決定事項

2013年エリア選手権統一施策として全戦で併催する。また統一した告知方法で参加促進を図る。

① クラス名称 :

「MEクラス」 （ME=Motocross, Enduro の略）

② コンセプト :

モトクロスやエンデューロマシンを所持しているライダーがコストをかけずスムーズにスーパーモタードへ参加できるクラスとして環境を整える。

他種目からも参入しやすいよう間口を広げることで、スーパーモタード（主にエリアへの）参加台数者の増加を図る。

③ 技術仕様

- ・ 車両区分： 一般市販車（国産・外国車） / レーサー（MX・ED）
- ・ 排気量： 80cc以上
- ・ リム： 14インチ以上
- ・ タイヤ： レーシングタイヤ（スリック・レイン）は禁止

④ ライダー装備

- ・ レーシングスーツ着用推奨
- ・ モトクロスウェアも可とするが各部パッド着用義務

⑤ 格式・参加資格

MFJ承認格式 エンジョイライセンス以上

(2) 走行会の併催

決定事項

エリア選手権併催にこだわらず、すでに開催しているスクール等を含め、走行会を各主催者にて可能な範囲で実施していく。

4) マウスガード導入について

走行中の口のケガや顎の骨折、脳震盪防止を目的とし、2013年より全種目対象にライダー装備としてマウスガード着用に関して、事務局より提案され了承された。

以上